

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

2024年5月24日 全社職場代表協議会開催



当社は、「従業員代表制度」を採用し、年2回（5月・11月）開催される全社職場代表協議会で、労使間の各種交渉、調整等を行っています。協議会では、まず経営陣から会社の概況、運営や労働時間管理の状況等についての報告がありました。また各職場より会社に対する要望や質問事項が寄せられ、職場代表委員と経営陣とで活発な意見交換が行われました。（担当部署:総務部 Tel:077-534-0956）

～工事安全豆知識～（歴代スローガンから紐解く時代背景）

全国安全週間(7/1～7)を前に実効を上げるため6月30日まで準備期間が始まります。昭和3年(1928年)に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、97回目を迎えます。今年度のスローガンは「**危険**に気付くあなたの目 そして摘み取る**危険**の芽 **みんな**で築く職場の**安全**」として展開されます。接続詞“そして”が初めて入ったスローガンですね。

さて、97年前にもスローガンはあったのでしょうか？
第1回1928年は「一致協力して怪我や病気を追拂ひませう」
鬼を追払うイメージでしょうか。
まもなく戦禍の影響を受け「**誓って安全 負け聖戦**」「**決戦一路 安全生産**」
など人命尊重とは懸け離れた文言が謳われる時代となりました。

1945年以降は戦時中の批判もあり、スローガンの呼び掛けは16年間も中止され、時を経て1961年(昭和36年)に再開されています。



その後は民主的な活動の下、キーワードとして「**安全**」「**職場**」「**みんな**」を主体としたスローガンを掲げて展開されてきました。1961年から1994年の30年余りは、努力や工夫、作業の見直し改善を進め、願いを込めて無災害や災害ゼロとする結果重視のスローガン。1973年にはゼロ災運動が提唱され、4R-KYTを主体に意識・注意を促して労働災害は減少してきました。

潮目が変わったのは1995年。「つみとろう**危険**の芽 トップの決意 みんなの努力」
初めて「**危険**」に着眼することになりました。

さらに大きな分岐点は2000年。

「災害ゼロから**危険**ゼロへ **みんな**で築こう新しい**安全文化**」
ここで初めて「災害ゼロ」の結果重視から、「**危険**ゼロ」へと準備や経緯、仕組みに着眼して展開することになりました。

そして、2006年には事前にリスクを評価して対策を決める「リスクアセスメント」が努力義務として法に定められました。

「**危険!**」が認識できれば人は自ずと身を護るものです。
そういう意味で今年度のスローガンは評価したいと思います。

ちなみに小生が好きなスローガンは2016年第89回のこの一作です。
「見えますか? あなたのまわりの 見えない**危険** **みんな**で見つける **安全管理**」
皆さんも職務を通して生活に活かせるお気に入りのスローガンを探してみませんか?



◇歴代スローガン：<https://www.jisha.or.jp/campaign/anzen/slogan.html>

ご安全に！ （担当部署：プラント事業部 Tel:077-534-1032）

【ローイング】朝日レガッタ 6 連覇達成!!

江本拓斗選手と江島凛斉選手が、東レ滋賀ボート部の一員として、5月3日から5月6日に関西みらいローイングセンター（滋賀県立琵琶湖漕艇場）で開催された第75回朝日レガッタに出場し、一般男子エイトで優勝！大会史上初の6連覇を達成しました！



江島選手

江本選手

【柔道】

全日本柔道選手権（4月29日）

酒井晃輝選手が、日本武道館で開催された日本最高峰の大会である全日本柔道選手権に出場し、3回戦まで勝ち上がり、ベスト16に入りました。開会式やテレビの実況では、「東レエンジニアリング西日本の酒井選手」と紹介されました。



「親子柔道体験会・トップアスリート交流会」（5月17日）

酒井晃輝選手が、滋賀県で初となる「第74回全日本実業柔道団体対抗大会」（6月8,9日）および2025年「わたSHIGA輝く国スポ（第79回国民スポーツ大会）柔道競技会」の長浜市開催をPRするイベント「親子柔道体験会・トップアスリート交流会」で講師を務めました。



トップアスリート交流会
一番左が酒井選手



親子柔道体験会
見本を見せる酒井選手